

透水性樹脂舗装材／ResiStone レジストーン

取扱説明書

この度は、「透水性樹脂舗装材／レジストーン」をご購入いただき、誠にありがとうございます。
ご使用前には、この「取扱説明書」をお読みの上、正しく施工を行ってください。

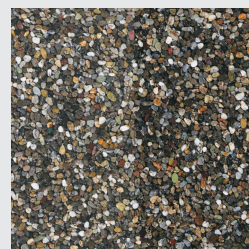
- 1箱(梱包内容)** 天然石骨材 …………… 1袋(約21.0kg)
 バインダー …………… 1袋(0.85kg)
 すべり止め材(珪砂5号) …… 1袋(約0.2kg)
 プライマー …………… 1缶(0.15kg)
 取扱説明書(本書) ……… 1部
 (使用面積 敷厚10mmとした場合:約1.1m²/1箱)



施工にあたって用意していただくもの

- モルタルミキサーなど(天然石骨材とバインダー混合用)
- 刷毛またはローラー及び容器
- レーキ、金ゴテ
- 有機溶剤(洗浄用シンナーなど)
- 養生テープ、シートなど
- ウエス
- 保護衣服
- ゴム手袋
- 保護メガネ
- 有機ガス用防毒マスクなど
- 頭巾など

- ⚠ 施工上のご注意**
- 本商品は歩道・広場用となります。
 - 施工下地の新設養生はコンクリートの場合は14日以上、アスファルトは7日以上養生を必要とします。
 - 施工日に降雨の恐れのある場合、強風などで、硬化前に埃やゴミが付着する恐れのある場合は、施工を避けてください。
 - 冬期、気温5℃以下、並びに夏期、気温35℃以上での施工は避けてください。
 - 施工前のバインダーは日陰で保管するなど温度が上がらないようにしてください。
 - 施工中は水を一切使用しないでください、また現場付近での火の使用は避けてください。
 - 天然石骨材が濡れている場合は必ず乾燥させてから使用してください。
 - 周囲を養生してから施工してください。
 - 階段などの立ち上がり面には施工できません。
 - 残材の廃棄処理は、それぞれの廃棄規定に基づいた処理を必ず行ってください。
 - 天然石を使用しているため同色でもロットにより色調が異なる場合があります。(右写真) 同一現場で使用する場合は一度にご注文ください。また色ムラとなるため、異なるロットでの塗り継ぎは避けてください。ロット違いを使用して施工する場合は施工前に骨材を混ぜていただくことで色調差を抑えることができます。



- ⚠ 取扱上のご注意**
- 材料の天然石骨材、バインダー、プライマーは水濡れ厳禁、火気厳禁です。材料の保管、施工には十分注意してください。危険物 第四類 第四石油類 危険等級Ⅲ
 - 作業中は換気を良くし、有機ガス用防毒マスクなどを装着し、蒸気を吸い込まないようにしてください。
 - バインダーは、皮膚に付着すると薬疹を起こす可能性がありますので、手袋、メガネ、頭巾などを着用し、できるだけ皮膚に付着しないようにしてください。
 - 皮膚に付着した場合は石鹸などでよく洗ってください。痛みや異常がある場合は、医師の診断を受けてください。
 - 目に入った、誤って飲み込んだりしてしまったなどの場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
 - 指定された以外の材料と混合しないでください。
 - 保管は、子供の手の届かない場所であり、且つ冷暗所にしてください。

- ⚠ 使用上のご注意**
- 舗装面が水に濡れると滑りやすくなる場合がありますので、歩行には注意してください。
 - 裸足での歩行や、舗装面に強く触れるなどすると、肌を傷つける場合がありますので注意してください。

施工後、本書をお施主様へお渡しください。

● 施工手順

1 下地・縁周りの処理

下地の不陸(凹凸)、欠損部、クラック(2mm以上)、などの不良下地は、あらかじめセメントモルタルなどで平滑に補修してください。

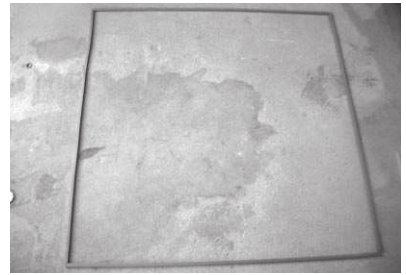
下地は十分に乾燥させ、表面の埃、油、土などの汚れを完全に除去してください。

縁石やレンガなどで縁の処理を行ってください。

※施工面の下地はクラッシャーランを施工後、コンクリートまたはアスファルトの上層路盤を50～100mmの厚さで施工します。

※汚れが溜まる要因となるため、下地には2%程度の排水勾配をつけてください。

※下地の新設現場は養生と乾燥を十分に行ってください。



2 プライマーの塗布

プライマーを容器に取り、刷毛やローラーで下地に均一に塗布します。塗布量は1缶当たり約1.1m²が目安です。

塗布後表面が乾燥するまでしっかりと養生させてから次工程に進んでください。

※下地の状況によりプライマーが乾きにくい場合があります。養生期間を長くとかドライヤー等で乾かしてください。

※プライマーは硬化してしまうと除去できません。はみ出せないように塗布してください。

※プライマーは天然石骨材と下地との接着強度を上げるために下地に塗布します。

※プライマーはバインダーと混ぜないようにしてください。



3 天然石骨材とバインダーの混合

ミキサーなどで天然石骨材を空練りし、攪拌しながらバインダーを投入して、約2～3分間均一に混練りを行ってください。混練り完了の目安は、天然石骨材の全周にバインダーが付着したことが確認できる状態です。

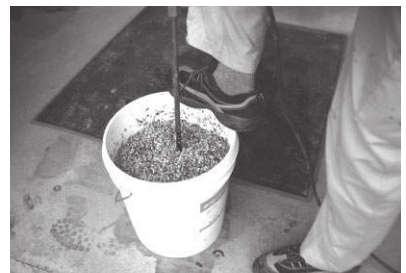
天然石骨材とバインダーの混合比率は、天然石骨材1袋に対しバインダー1袋です。バインダーは開封した時点から硬化が始まりますので、開封から仕上がりの作業は、30分を目安に迅速に仕上げてください。

※過剰に攪拌すると、骨材が焼けて変色する場合がありますのでご注意ください。

※天然石骨材とバインダーは十分に攪拌を行い、均一に混合してください。

天然石骨材に対してバインダーの量が多い部分は、硬化の際に白く発泡する場合がありますのでご注意ください。

※天然石骨材に水分が有る場合は、必ず乾燥させて使用してください。



4 天然石骨材の敷き均し

バインダーと混合した天然石骨材を施工面にレーキなどで10mm程度まで迅速に押し広げます。骨材がたたないように金ゴテで押さえ込みながら平滑に仕上げてください。すべり止め材は必要に応じ金ゴテ仕上げ後、バインダーが硬化する前に散布してください。すべり止め材が偏ってしまうと色ムラができてしまうため適量を均一に散布して仕上げてください。一度混合した天然石骨材は一箇所に放置しないでください。

コテ滑りが悪い場合は、有機溶剤を染み込ませたウエスでコテを拭きながら仕上げてください。

※低温期はバインダーの粘度が上がり、容器から出にくくなりますので、予め40℃のお湯に入れてバインダーの缶を暖めてから開封して全量を出してください。

※塗り継ぎを行う場合は、塗りつけた天然石骨材が硬化しないうちに行ってください。連続作業ができない場合は、いったん目地で切ってください。

※使用後のバインダーの付着している施工用具などは、速やかに有機溶剤などで洗浄してください。



5 養生

仕上げ後、施工面が硬化完了するまで養生します。

指触硬化時間は、温度により異なります。下記を目安としてください。

〔指触硬化目安時間〕

冬期(5℃) 12～14時間

春秋期(20℃) 8～10時間

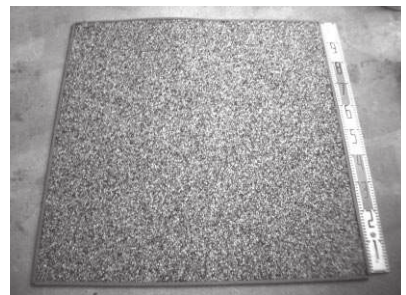
完全硬化までは、3～5日かかります。

夏期炎天下での施工は、硬化が促進され可使時間が極端に短くなるため気温の低い日陰からか、早朝、夕方などに施工してください。

※養生中は人や動物が立ち入らないようにし、水濡れ、降雨、強風に十分注意してください。

※完全硬化までに水濡れ、降雨、強風などの恐れがある場合は養生シートなどで保護してください。

※硬化するまでの間は、埃等が表面に付着しないようご注意ください。見栄えが変わることがあります。



●販売元

株式会社 **ユニソ**

〒473-0925 愛知県豊田市駒場町藤池17番1
HPアドレス <http://www.unison-net.com>